MUFG
三菱UFJ証券ホールディングス

2024年3月期　決算説明資料

三菱ＵＦＪ証券ホールディングス株式会社
2024年4月

目次

- 連結業績ハイライト P2
- セグメント別概要① P3
- セグメント別概要② 国内営業 P4
- セグメント別概要③ ホールセール P5
- 国内証券会社の状況 P6
- 国内証券会社の業績 P7
- リーグテーブル P9
- 2023年度トピックス P10

Appendix

- 新中期経営計画 P13
- 三菱UFJモルガン・スタンレー証券（MUMSS）の状況 P16
- auカブコム証券・海外現地法人の状況 P18
- 連結業績推移（財務ベース） P19
- 受入手数料及び販売費・一般管理費（財務ベース） P20
- 連結貸借対照表の状況（財務ベース） P21
- 財務基盤関連指標（格付・自己資本規制比率） P22

注1）本資料掲載情報は、本頁以降、特段の追記がなければ表示単位未満は切捨で記載しております。
また、海外拠点の決算日は連結決算日と3ヶ月異なるため、累計業績推移は1～12月、四半期業績推移は10～12月の実績となります。
注2）MUFGセキュリティーズアメリカ（MUSA）は、2017年3月期3Qより米国プルデンシャル規制対応のため当社の連結対象外となりましたが、
社内収益管理は引き続き同社を含めて行っているため、特段の追記がない限り合算ベースを記載しております。

連結業績ハイライト

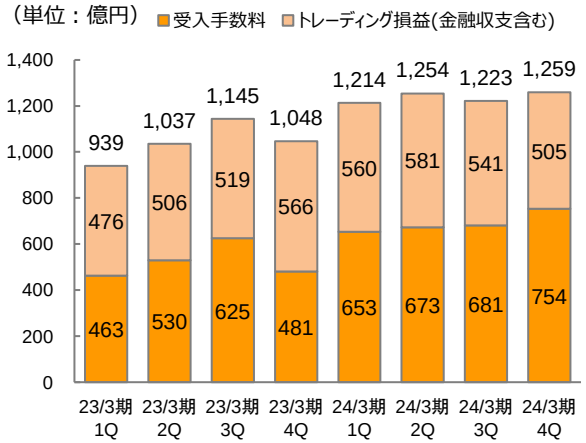
MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

業績推移

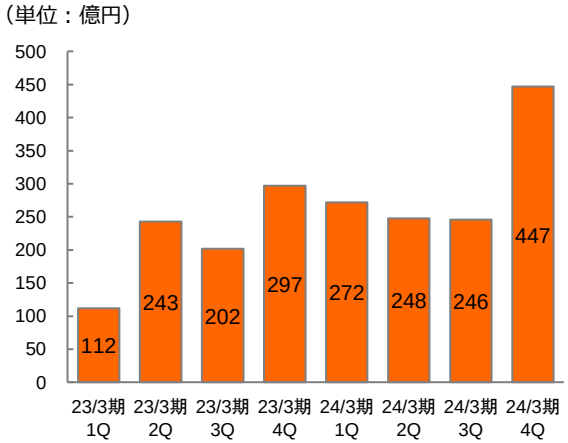
- 純営業収益 4,951億円（前期比＋18%）、経常損益 1,215億円（同＋41%）
  親会社株主に帰属する当期純損益 633億円（同＋38%）
  四半期業績は、純営業収益 1,259億円（前四半期比＋2%）、経常損益 447億円（同＋81%）
  親会社株主に帰属する当期純損益 217億円（同＋60%）
- 年度業績は、全セグメント好調で前期比増収増益。国内営業では好調な相場環境も背景に増収、インベストメントバンキング業務では発行市場規模回復やM&A案件収益化が寄与、グローバルマーケッツ業務では国内フィクストインカムが高水準を維持
- 4Q業績は、国内拠点の好調継続と海外拠点の復調に加え、持分法投資利益の寄与も加えて、前四半期比大幅増益。四半期ベースの経常損益は10年振りの高水準

（単位：億円）	年度業績			四半期業績		
	2023/3期	2024/3期	前期比増減率	2024/3期 3Q	2024/3期 4Q	前四半期比増減率
純営業収益	4,170	4,951	＋18%	1,223	1,259	＋2%
販売費・一般管理費	3,588	4,033	＋12%	1,050	928	△11%
経常損益※	856	1,215	＋41%	246	447	＋81%
親会社株主に帰属する当期純損益※	457	633	＋38%	135	217	＋60%

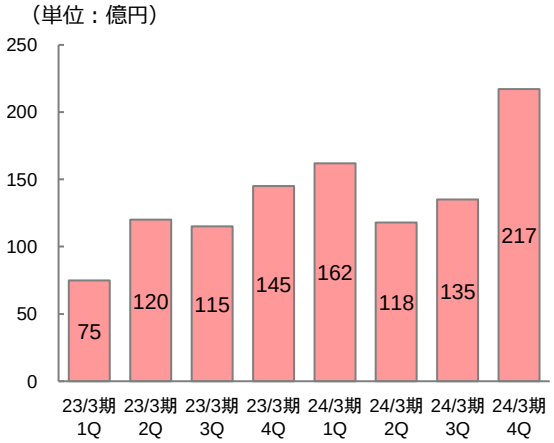
純営業収益



経常損益



親会社株主に帰属する当期純損益



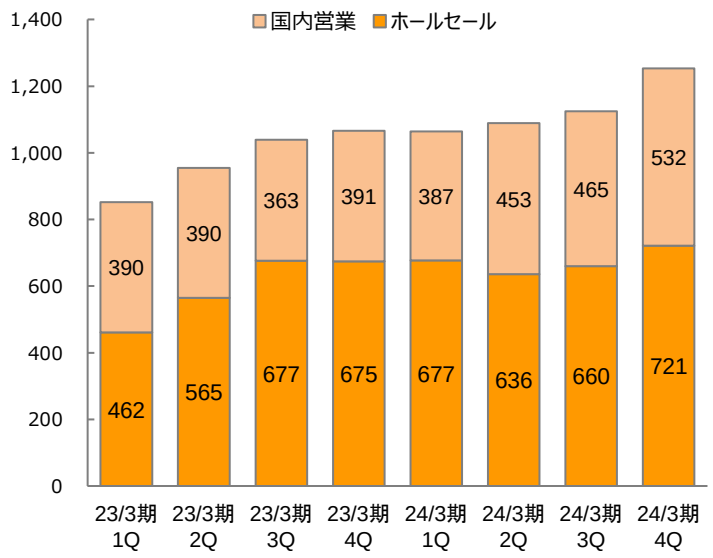
※ 持分法適用関連会社のモルガン・スタンレーMUFG証券の損益が含まれます。

セグメント別概要①

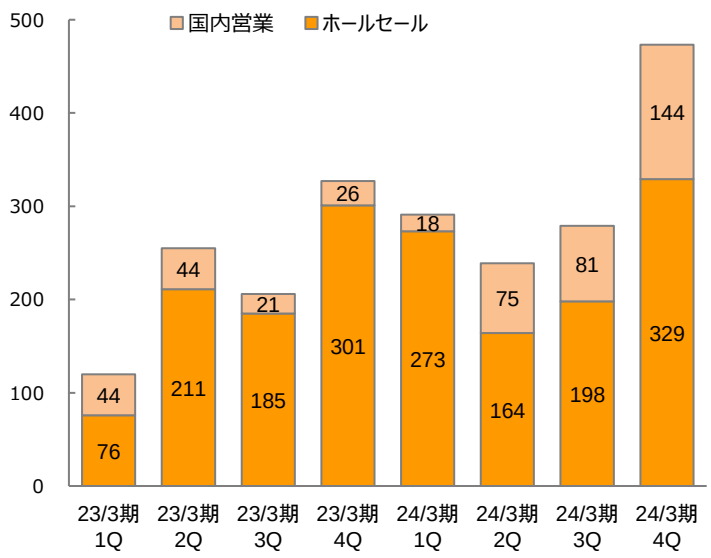
MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

（単位：億円）	年度業績			四半期業績		
	2023/3期	2024/3期	前期比増減率	2024/3期 3Q	2024/3期 4Q	前四半期比増減率
純営業収益						
国内営業	1,534	1,837	＋20%	465	532	＋15%
ホールセール	2,378	2,695	＋13%	660	721	＋9%
経常損益						
国内営業	135	318	＋135%	81	144	＋77%
ホールセール※2	773	964	＋25%	198	329	＋67%

純営業収益
（単位：億円）



経常損益
（単位：億円）



※1 社内管理計数を使用し、四捨五入で記載しております。（為替レートは1ドル＝105円） ※2 持分法適用関連会社のモルガン・スタンレーMUFG証券の損益が含まれます。

セグメント別概要②　国内営業

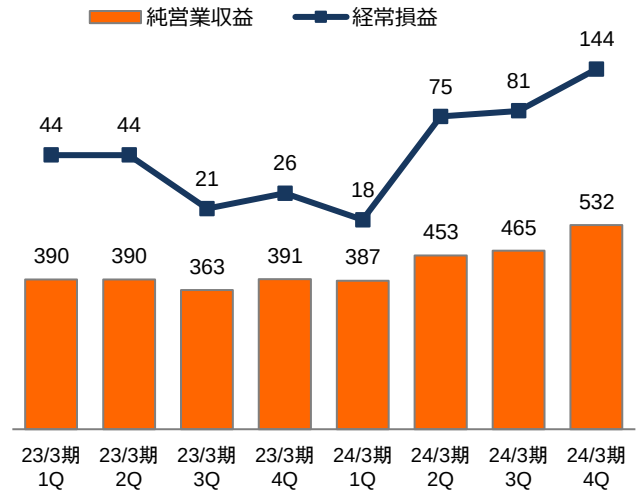
MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

（単位：億円）	2024/3期	前期比 増減率	2024/3期 4Q	前四半期比 増減率
純営業収益	1,837	＋20%	532	＋15%
経常損益	318	＋135%	144	＋77%

- 好調な相場環境の中、お客さまの投資意欲が上向き、株式売買の増加に加え、ポートフォリオ提案に基づく株式投信の組み入れ増加も寄与
- 4Qは投信販売を中心に全商品の販売額が増加
- 預かり資産残高は資産純増のプラス基調を維持、株高を背景とした時価上昇も寄与し順調に拡大

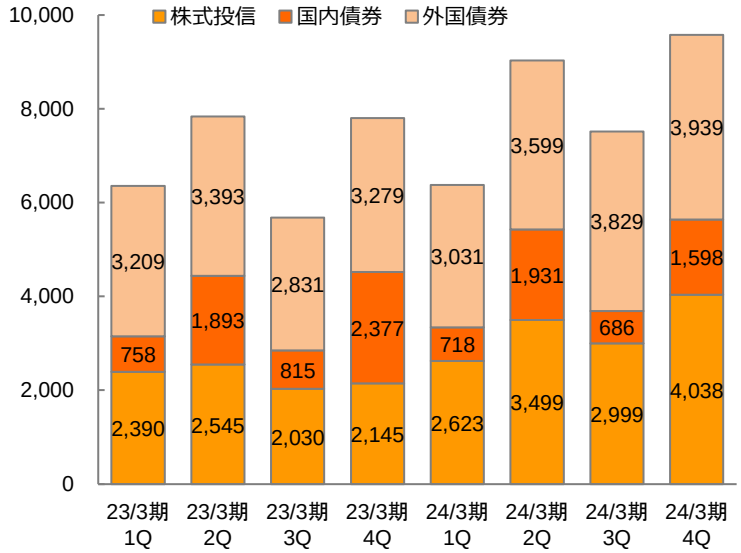
純営業収益・経常損益

（単位：億円）



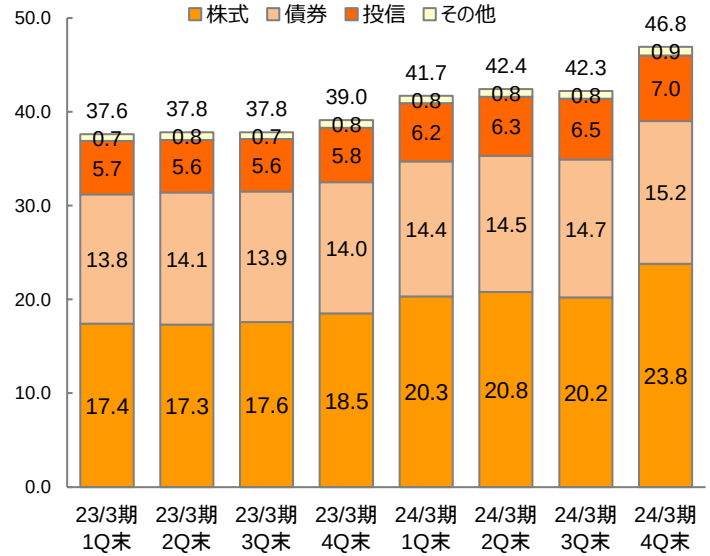
商品販売額*2　（MUMSS国内営業部門ベース）

（単位：億円）



預かり資産残高　（MUMSS国内営業部門ベース）

（単位：兆円）



※1 社内管理計数を使用し、四捨五入で記載しております。※2 リテールの計数を記載しています。

セグメント別概要③　ホールセール

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

（単位：億円）	2024/3期	前期比 増減率	2024/3期 4Q	前四半期比 増減率
純営業収益	2,695	＋13%	721	＋9%
経常損益※2	964	＋25%	329	＋67%

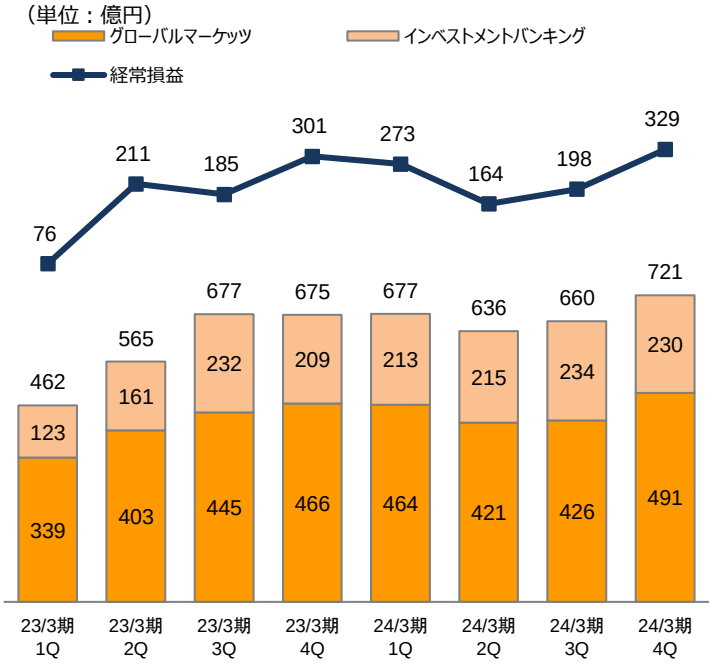
■ **グローバルマーケッツ**

➢ フィクストインカム業務
- 年度は、国内拠点は前年度好調だったRates業務が減収もクレジット業務が堅調。海外拠点は対顧デリバティブでの大型案件獲得等が寄与し、全体として増収
- 4Qは、国内拠点が減収となった一方、海外拠点での上述の大型案件獲得等により前四半期比は横這い

➢ エクイティ業務
- 年度は、株式市況の好調を背景とした顧客フロー増加で国内拠点が好調も、海外拠点におけるソリューション収益の前年度からの剥落が響き減収
- 4Qは、国内拠点で大口の株式売買フローの増加が寄与し増収

■ **インベストメントバンキング**
- 国内外とも発行市場が回復、国内では大型のM&A案件成約も寄与し前期比増収、前四半期比は横這い

純営業収益・経常損益

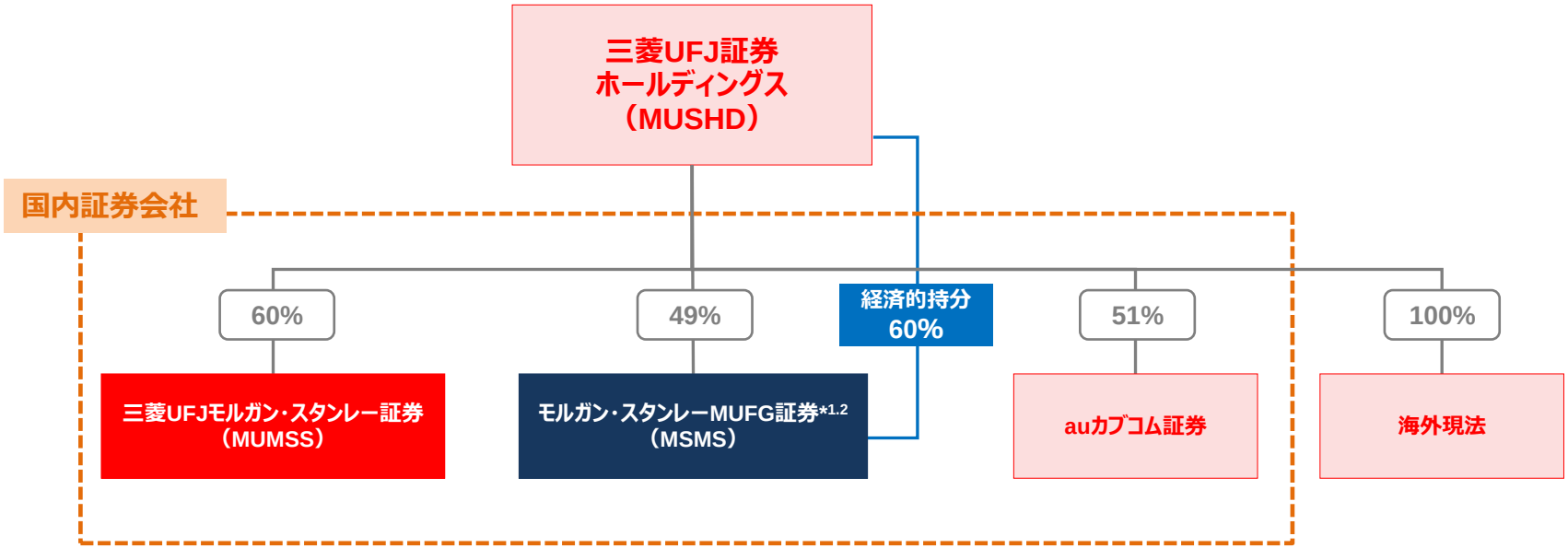


業務別　純営業収益

（単位：億円）	年度業績			四半期業績		
	2023/3期	2024/3期	前年同期比 増減率	2024/3期 3Q	2024/3期 4Q	前四半期比 増減率
グローバルマーケッツ	1,653	1,802	＋9%	426	491	＋15%
フィクストインカム業務	1,178	1,291	＋10%	325	329	＋1%
エクイティ業務	398	390	△2%	85	132	＋56%
インベストメントバンキング	724	893	＋23%	234	230	△1%

※1 社内管理計数を使用しており、四捨五入で記載しております。　※2 持分法適用関連会社のモルガン・スタンレーMUFG証券の損益が含まれます。

国内証券会社の状況



* 議決権所有比率を記載しています。
*1 持分法適用関連会社です。
*2 MSMSの議決権所有比率はMUSHDが49%、モルガン・スタンレー・ホールディングスが51%ですが、
利益配当請求権等の経済的持分はMUSHDが60%、モルガン・スタンレー・ホールディングスが40%を有します。

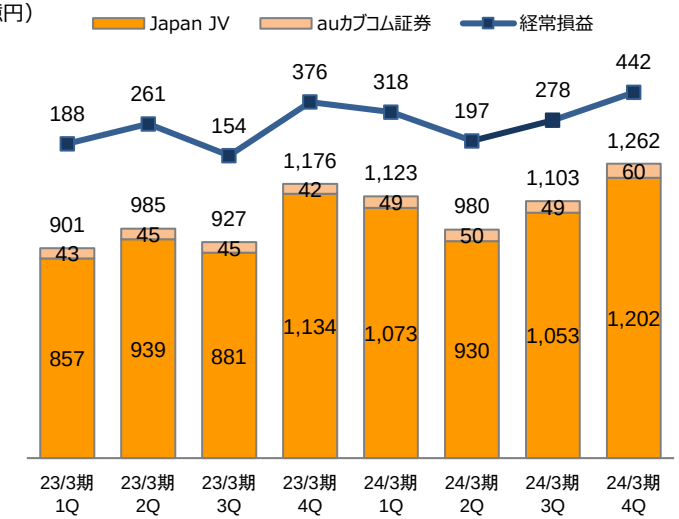
国内証券会社の業績①

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

■ モルガン・スタンレーとの証券ジョイントベンチャーである2社（Japan JV）とauカブコム証券の合計3社の業績は次の通り

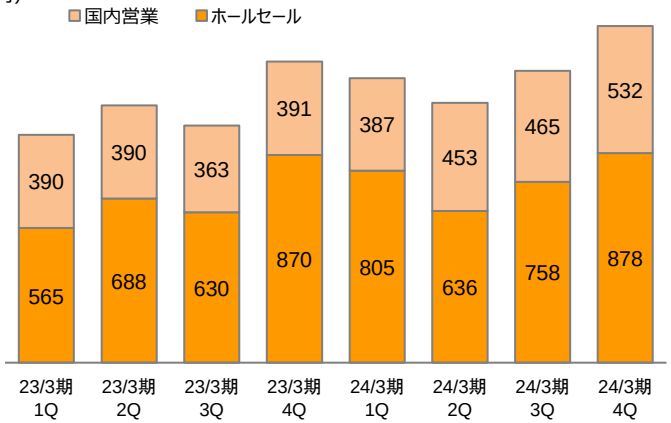
純営業収益・経常損益

（単位：億円）



セグメント別 純営業収益の推移

（単位：億円）



*1 自己資本は期首残高と期末残高の平均で算出しております。

*2 MSMS、auカブコム証券は財務計数、MUMSSは社内管理計数を使用し、四捨五入で記載しております。

国内証券会社単純合算　（単位：億円）	2024/3期
純営業収益	4,469
Japan JV	4,260
MUMSS	2,901
モルガン・スタンレーMUFG証券　（MSMS）	1,358
auカブコム証券	209
販売費・一般管理費	3,250
Japan JV	3,089
MUMSS	2,208
MSMS	881
auカブコム証券	160
経常損益	1,236
Japan JV	1,188
MUMSS	718
MSMS	469
auカブコム証券	48
純損益	898
Japan JV	871
MUMSS	544
MSMS	326
auカブコム証券	26
ROE*1	13.1%
Japan JV	13.6%
MUMSS	12.4%
MSMS	16.2%
auカブコム証券	6.2%

セグメント別*2

国内営業 (MUMSS + auカブコム証券)	
純営業収益	1,837
経常損益	318
ホールセール (MUMSS + MSMS)	
純営業収益	3,077
経常損益	980

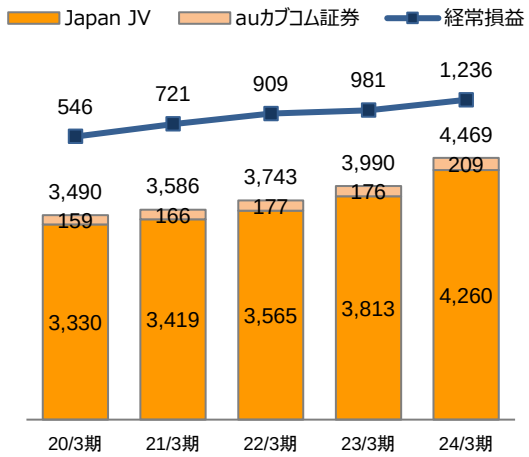
国内証券会社の業績②

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

■ 国内証券会社3社合算の今年度の純営業収益は約4,500億円を計上、4年連続増収増益
■ 本邦純営業収益シェアは20%前後で推移、合算ROEは2年連続10%を超過

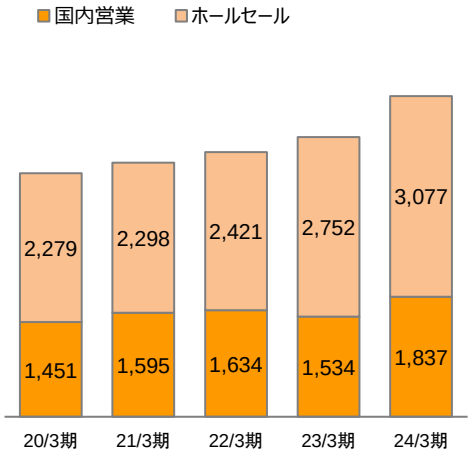
純営業収益・経常損益の年度推移

（単位：億円）



セグメント別 純営業収益の年度推移*1

（単位：億円）



受賞アワード

J.D. パワー*2

"個人資産運用顧客満足度"
- 対面証券部門:MUMSS

2年連続 No.1

"カスタマーセンターサポート満足度"
＜金融業界編＞
- 対面証券部門:MUMSS
- ネット証券部門:auカブコム証券

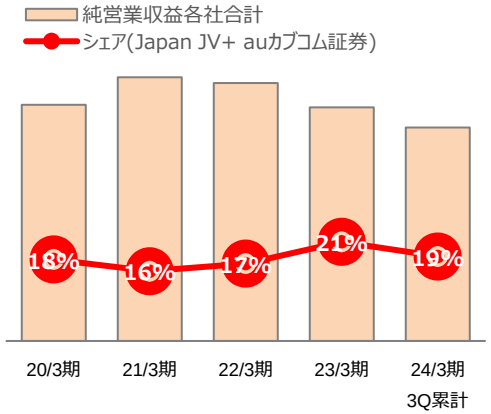
No.1

Asiamoney*3*4

Best Investment Bank

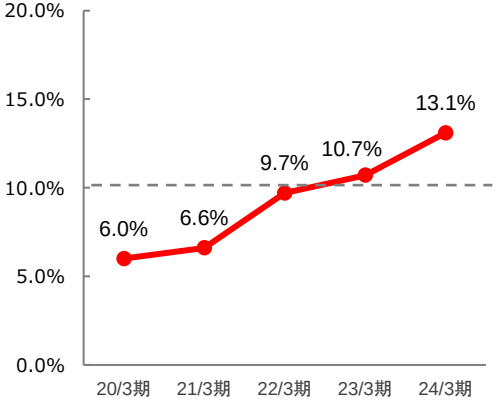
純営業収益シェア推移

（国内大手5社、ネット証券5社、MSMSの合計）



ROEの年度推移

（Japan JV + auカブコム証券）



モルガン・スタンレーとの戦略的提携のトピックス

- アライアンス2.0
  - 機関投資家向け日本株ビジネスをMSMSに移管し、新しい形での協働を 2024年1月より開始
- 日本株リサーチをMSMSにおいて統合し、アナリストのカバー銘柄は、500社を超過。本邦トップクラスのカバレッジ数
- アライアンス2.0以降初のイベントとして、海外投資家向けのアナリストマーケティングイベント「Japan Research Caravan」を3月に香港/シンガポールで開催

*1 一部社内管理計数を使用し、四捨五入で記載しております。
*2 出所：「J.D. パワー2022-2023年個人資産運用顧客満足度調査」、「J.D. パワー2023年カスタマーセンターサポート満足度調査＜金融業界編＞」。J.D. パワー調査の詳細 japan.jdpower.com/awardsをご参照ください。 *3 出所：「Asiamoney」Best Bank Awards 2023: Japan *4 MUFGとモルガン・スタンレーによる日本における証券合弁事業（MUMSS、MSMSにより構成）として受賞

リーグテーブル

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

投資銀行業務 ～ リーグテーブル（2023年4月～2024年3月）

債券（国内債+外債）総合シェア※1

順位	証券会社	シェア（%）
1	みずほ証券	17.8
2	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	16.4
3	野村證券	15.8
4	SMBC日興証券	15.1
5	大和証券	14.9
6	ゴールドマン・サックス証券	3.8
7	BofA証券	3.3
8	シティグループ証券	3.2
9	JPモルガン証券	2.9
10	バークレイズ証券	1.7

国内外エクイティ総合シェア※2

順位	証券会社	シェア（%）
1	野村	32.0
2	三井住友フィナンシャルグループ	14.9
3	大和証券グループ本社	13.7
4	三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券	13.5
5	みずほフィナンシャルグループ	12.6
6	ゴールドマン・サックス	4.2
7	JPモルガン	4.0
8	SBIホールディングス	1.5
9	BofA証券	1.2
10	シティ	1.0

M&Aアドバイザリー（取引金額ベース）※3

順位	アドバイザー	取引金額（十億円）
1	三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券	7,387
2	野村	6,442
3	BofAセキュリティーズ	4,614
4	ゴールドマン・サックス	3,883
5	JPモルガン	3,608
6	三井住友フィナンシャルグループ	3,490
7	みずほフィナンシャルグループ	3,183
8	バークレイズ	2,508
9	大和証券グループ本社	2,394
10	UBS	2,379

※1：出所： 国内債はLSEG（旧REFINITIV）及び同社提供のDealWatchDBより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。普通社債、財投機関債等（高速道路債を含む）、地方債等の国内債主幹事リーグテーブルを集計。外債は企業開示情報、Dealogic、Bloomberg、IFR、Informaのデータを基にモルガン・スタンレーMUFG証券作成

※2：出所： LSEG（旧REFINITIV）より三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーMUFG証券の引受分、日本企業による海外市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーの引受分を含む

※3：出所： LSEG（旧REFINITIV）より三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成
日本企業が関わる公表案件（含、不動産取得案件）。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む

2023年度トピックス①

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

JIVL～スタートアップ伴走プログラム～

概要

- 「Japan Inclusive Ventures Lab（JIVL）」は、女性や多様なバックグラウンドをもつ創業者や経営陣により設立または運営される、日本のスタートアップの成長に伴走するプログラム
- モルガン・スタンレーが米国、ヨーロッパ・中東・アフリカ地域(EMEA)で展開している「Morgan Stanley Inclusive Ventures Lab」を参考に、シード・アーリーステージの企業成長を支援
- 経済産業省等のスタートアップ創出戦略に沿い、Born Global、経済社会構造変革、日本の持続的成長への貢献をキーワードとし、投資リターンや本業とのシナジーといった従来の判断基準にとらわれない投資・支援の実現により、証券市場の発展に貢献

特徴

①出資

- 選定されたスタートアップに1社あたり原則2,500万円出資

②6か月間のオーダーメイドのプログラム

- 選定されたスタートアップごとにオーダーメイド形式で提供。支援企業の要望に応じ外部講師の手配も検討
- 経験豊富な起業家の方々が本プログラムのアドバイザーに就任。企業成長のためのディスカッション機会等を設定
- シード、アーリーステージのスタートアップ企業が必要とする資金調達・売り上げ拡大につながるプログラムを準備

主要テーマ

ビジネス戦略	資金調達	人材育成

③ Global Reach

- 選定されたスタートアップは「Morgan Stanley Inclusive Ventures Lab」のニューヨークやロンドンのプログラムにも一部オンラインにて参加可能
- 現地にてスタートアップとの交流やDemo Day見学/参加を計画

スケジュール

2023年度トピックス②

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

ESGの推進

- 受賞アワード

ESG ファイナンス・アワード・ジャパン*1

2024 ESG FINANCE AWARDS JAPAN GOLD 金融サービス(証券)部門 金賞

Asiamoney*2*3

Best Bank for ESG

- ESG債の引受け
  ・MUMSSにおける2023年度引受実績（種類/件数/引受額）

グリーンボンド	64件 / 2,892億円	トランジションボンド	9件 / 207億円
ソーシャルボンド	62件 / 3,400億円	サステナビリティリンクボンド	19件 / 534億円
サステナビリティボンド	22件 / 692億円	トランジションリンクボンド	3件 / 190億円

https://www.sc.mufg.jp/company/sustainability/business_underwriting_index.html#ptp

- ESG関連セミナー等を開催
  - 債券投資家・発行体向けトランジション・ファイナンス・セミナー
  - JICA共催 生物多様性保全講義(@東京都市大学)
  - ESGファイナンス講義(@東京都立大学)

金融経済教育への取り組み

- 小学生から大学生、社会人を対象に金融経済プログラムを展開。
  次世代を担う子どもたちを中心に全ての世代へのプログラム提供を通じて社会に貢献

23年4月 新たに中高生向けプログラム提供を開始

中学生向け「お金の力-WILL-」

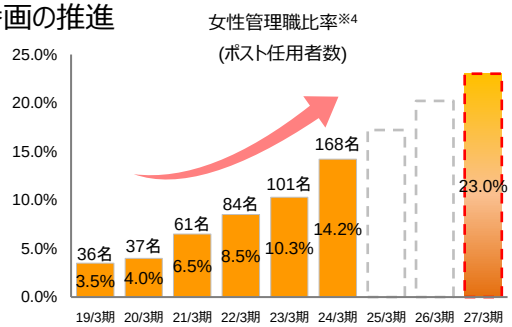
高校生向け「お金の力-CHOICE-」

23年7月 MUFGグループ各社が保有するプログラムの相互活用開始

23年12月 鷗友学園女子中学高等学校と連携協定を締結

ダイバーシティ推進の取り組み

- 女性活躍、男性の家事育児参画の推進
  - 女性管理職比率の今中計目標は23.0%※4
  - 男性社員の育児休業取得率4年連続100% ※5



- ヘルスケア休暇、障がい者サポート休暇導入

ヘルスケア休暇	生理および更年期障害により就業が著しく困難な場合に利用可能（2日/月まで有給扱い）
障がい者サポート休暇	障害者手帳を有する社員が障がいによる通院や治療等を行う場合に利用可能（5日/年 有給扱い）

- 外部機関からの評価

プラチナくるみん　PRIDE指標「ゴールド」　トモニン

従業員への還元の取り組み

2023年度	2024年度	2025年度
実質+5%・特別昇給・一時金支給	実質+7%・特別昇給・株式交付制度導入※6	
	・初任給引上げ※7（255千円→267千円）	・初任給2年連続引上げ※7（267千円→276千円）

*1環境省 第3回 ESG ファイナンス・アワード・ジャパン(環境大臣賞) *2 出所：「Asiamoney」Best Bank Awards 2023: Japan *3 MUFGとモルガン・スタンレーによる日本における証券合弁事業（MUMSS、MSMSにより構成）として受賞 *4集計対象：MUMSS *5当該年度育休取得期限の男性社員全員が取得したもの（育介法ベースでは2023年度121%） *6 経営職層対象 *7 総合職（全域型）

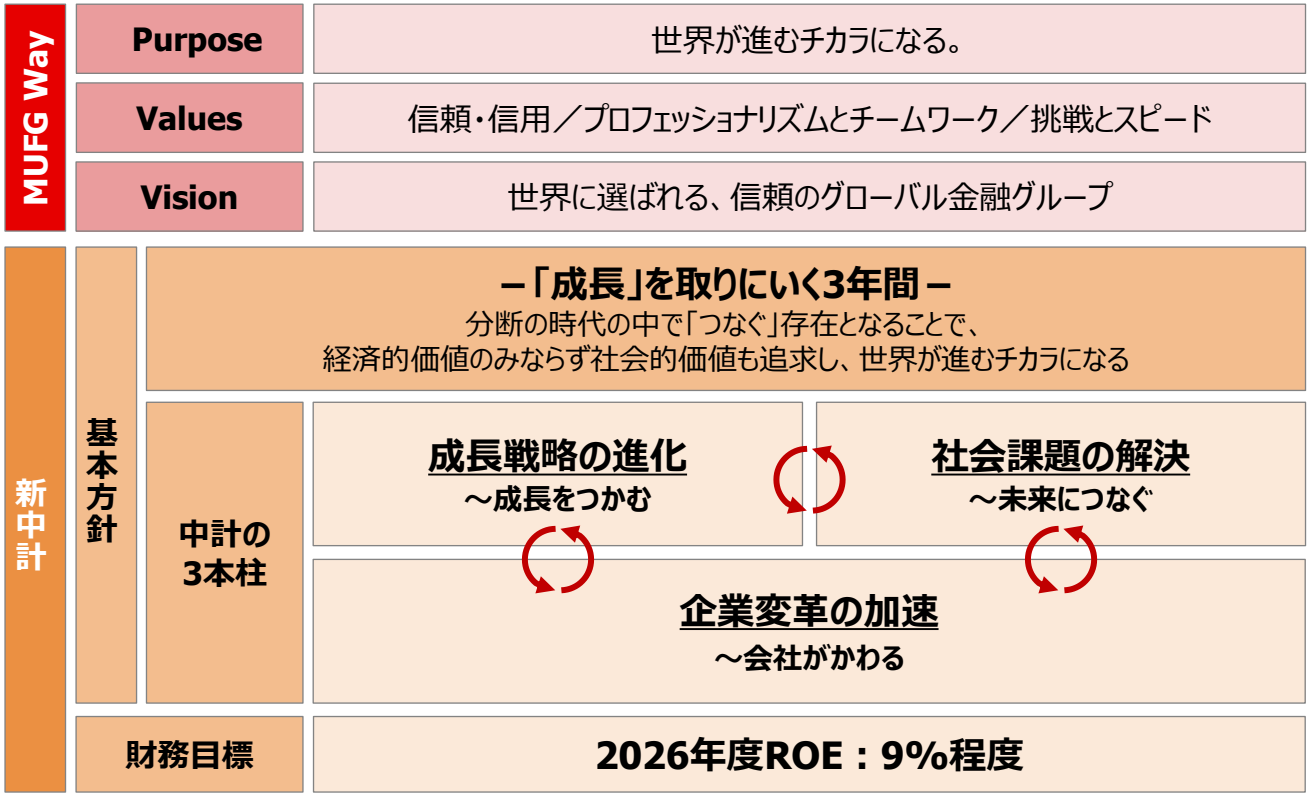
Appendix

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

基本方針

ニュースリリース資料抜粋（24年4月1日MUFG HP掲載）

MUFGのビジネスを取り巻く環境が大きく変わる機会を捉えて、2024年度からの計画期間を「成長」を取りにいく3年間と位置付けます。成長戦略を進化させるとともに、社会課題解決への貢献を中計の柱に据え、取り組みを一層強化いたします。また、中長期的な成長も見据えた経営基盤強化やカルチャー改革などの企業変革も加速させてまいります。これらの取り組みを通じて、2026年度にROE9%程度の実現をめざします。



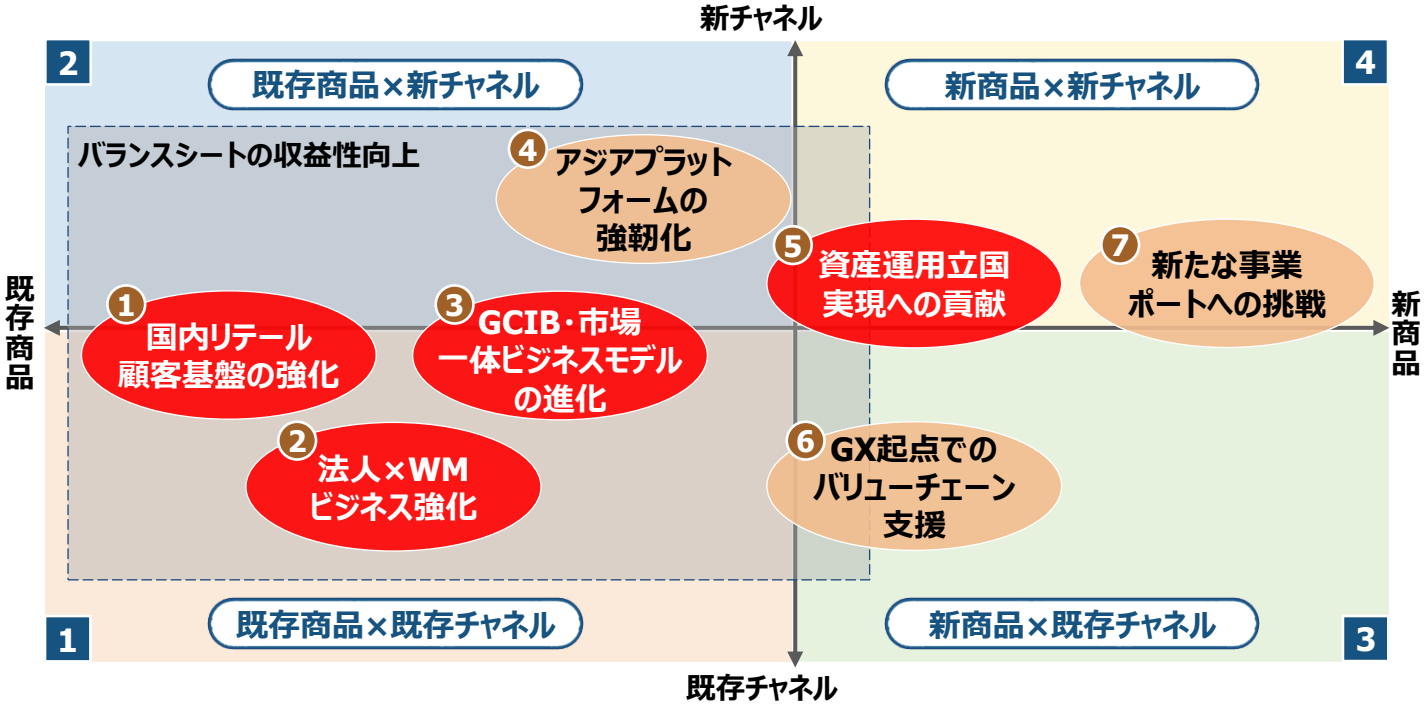
MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

ニュースリリース資料抜粋（24年4月1日MUFG HP掲載）

中計の3本柱

（1） 成長戦略の進化 ～成長をつかむ

新中計におけるMUFGの戦略を「商品×チャネル」の4象限で検討した上で、「成長をつかむ」ための7つの成長戦略を策定いたしました。金利環境の変化を踏まえたバランスシートの収益性向上など、既存のビジネスモデルを更に強靭化するとともに、新しい商品・サービスの提供や新しいチャネルを通じたお客さまとの接点の拡大による成長をめざしてまいります。



ニュースリリース資料抜粋（24年4月1日MUFG HP掲載）

（2） 社会課題の解決 ～未来につなぐ

MUFGでは持続可能な環境・社会の実現に向け、サステナビリティ経営において優先的に取り組む課題（以下優先課題）を設定していますが、環境変化やそれに伴う世の中の期待、事業における重要性を踏まえて見直しを行いました。社会課題解決への貢献を経営戦略と一体化させ、取り組みを一層強化してまいります。

優先課題（前中計）

- 気候変動対応・環境保全
- 少子・高齢化社会への対応
- 金融サービスへの平等なアクセス確保
- 貧困問題への対応
- 教育格差の是正
- 社会インフラ整備
- 産業育成・イノベーション支援
- 健康の脅威への克服
- 働き方改革の推進
- インクルージョン&ダイバーシティ

優先課題（新中計）

持続可能な社会	• カーボンニュートラル社会の実現 • 自然資本・生物多様性の再生 • 循環型経済の促進
活力溢れる社会	• 産業育成、イノベーション支援 • 少子高齢化への対応 • 金融サービスへのアクセス拡大 • 人的資本重視の経営
強靭な社会	• 人権尊重 • 安心・安全なサービスの提供 • 強固な企業ガバナンスの発揮

（3） 企業変革の加速 ～会社がかわる

お客さまから信頼され、選ばれ続ける存在であるために、スピード改革などのカルチャー改革や、人的資本の拡充、システム開発リソースの増強、AI・データ基盤の強化といった経営基盤の強化に取り組むとともに、リスク管理やコンプライアンスの更なる向上に努め、企業変革を進めてまいります。

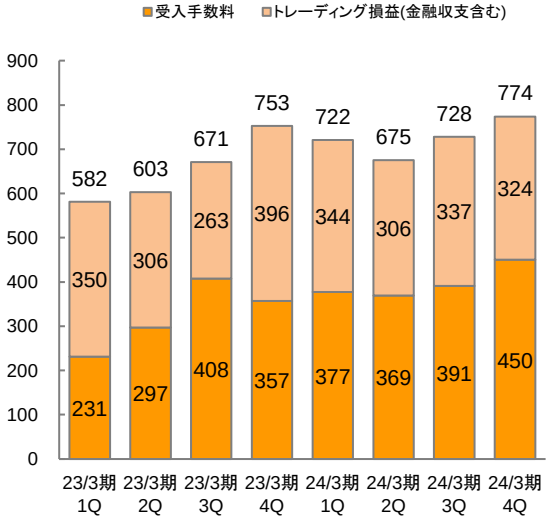
三菱UFJモルガン・スタンレー証券（MUMSS）の状況①

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

（単位：億円）	年度業績			四半期業績		
	2023/3期	2024/3期	前期比増減率	2024/3期 3Q	2024/3期 4Q	前四半期比増減率
純営業収益	2,611	2,901	＋11%	728	774	＋6%
販売費・一般管理費	2,168	2,208	＋1%	559	529	△5%
経常損益	469	718	＋52%	176	251	＋42%
当期純損益	363	544	＋49%	124	212	＋70%

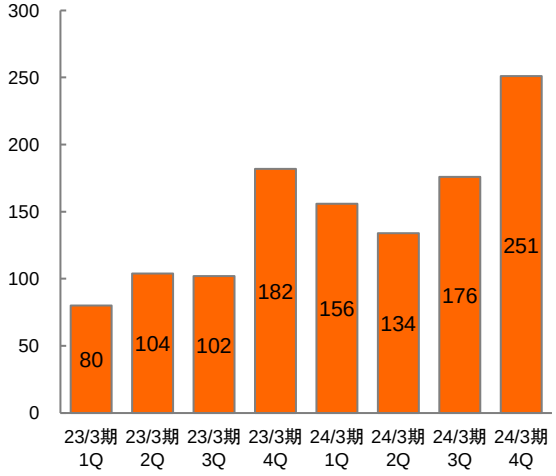
純営業収益

（単位：億円）



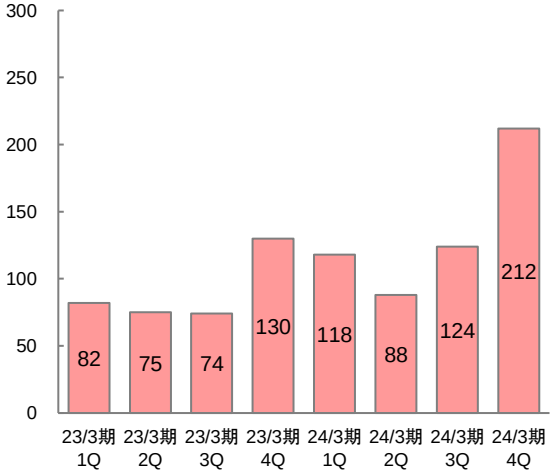
経常損益

（単位：億円）



当期純損益

（単位：億円）

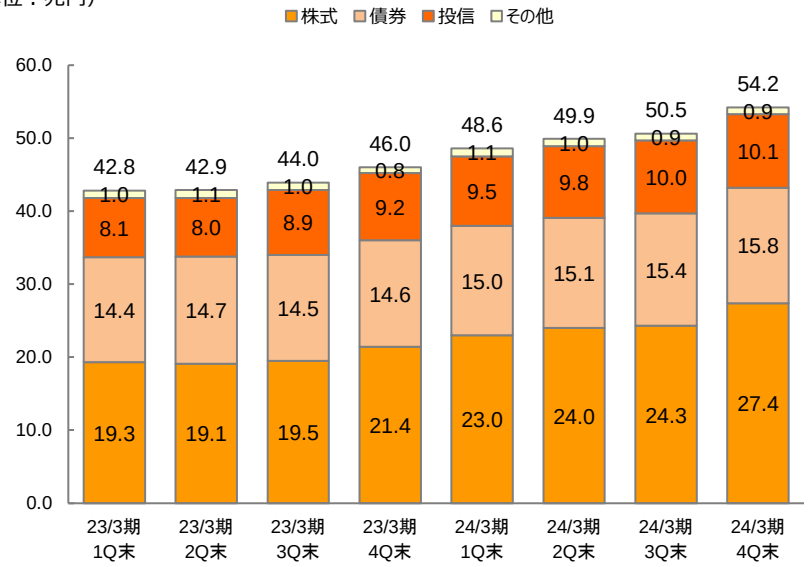


三菱UFJモルガン・スタンレー証券（MUMSS）の状況②

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

預かり資産残高（全社ベース）*

（単位：兆円）



口座数（国内営業部門）*

（単位：千口座）	2023/3期 1Q	2023/3期 2Q	2023/3期 3Q	2023/3期 4Q	2024/3期 1Q	2024/3期 2Q	2024/3期 3Q	2024/3期 4Q
残あり口座数	1,118	1,109	1,101	1,096	1,085	1,074	1,065	1,058
新規口座数	12	12	13	16	11	14	12	16
NISA口座数	219	218	217	216	219	227	234	239

ご参考　MUSHD連結ベース *

NISA口座数 (MUMSS+auカブコム証券)	463	497

※ 四捨五入で記載しております。

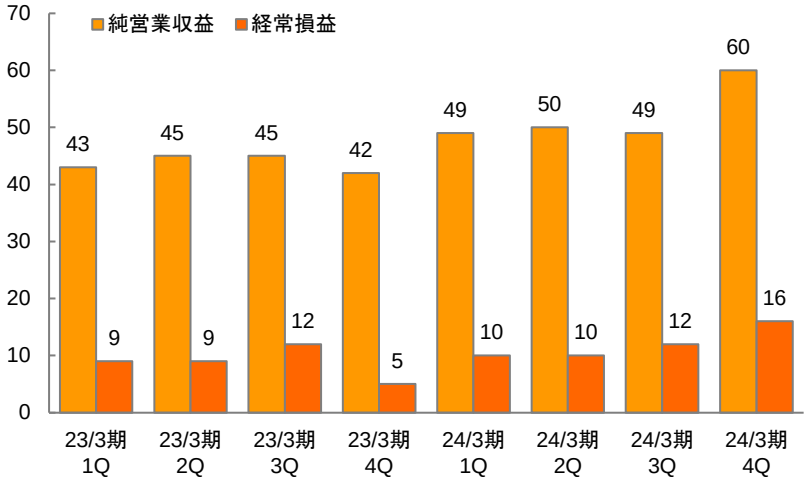
auカブコム証券・海外現地法人の状況

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

auカブコム証券

純営業収益・経常損益

（単位：億円）



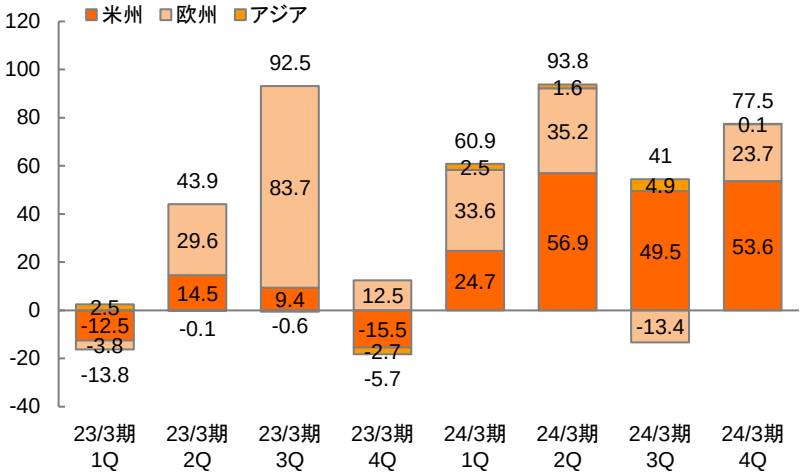
（単位：億円）	年度業績		
	2023/3期	2024/3期	前期比増減率
純営業収益	176	209	＋18%
経常損益	37	48	＋28%

（単位：億円）	四半期業績		
	2024/3期 3Q	2024/3期 4Q	前四半期比増減率
純営業収益	49	60	＋22%
経常損益	12	16	＋33%

海外現地法人

経常損益

（単位：億円）



（単位：億円）	年度業績		
	2023/3期	2024/3期	前期比増減率
米州	△4.0	184.8	― %
欧州	121.9	79.1	△35%
アジア	△1.0	9.3	― %
合計	116.8	273.3	＋133%

（単位：億円）	四半期業績		
	2024/3期 3Q	2024/3期 4Q	前四半期比増減率
米州	49.5	53.6	＋8%
欧州	△13.4	23.7	― %
アジア	4.9	0.1	△96%
合計	41.0	77.5	＋88%

連結業績推移（財務ベース）

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

単位：百万円

	年度		四半期							
	2023/3期	2024/3期	2023年3月期				2024年3月期			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業収益	492,807	712,635	86,759	130,330	198,810	76,906	146,225	152,748	246,354	167,307
受入手数料	151,850	196,772	30,070	35,865	45,654	40,260	46,156	43,962	48,039	58,614
トレーディング損益	182,567	136,190	27,413	68,589	100,201	△13,637	41,906	38,640	75,129	△19,485
その他の営業収益	4	4	4	0	―	0	4	―	―	―
金融収益	158,384	379,667	29,271	25,875	52,954	50,283	58,157	70,146	123,184	128,179
金融費用	140,549	322,098	6,899	46,213	104,653	△17,216	47,634	57,929	152,996	63,536
純営業収益	352,257	390,537	79,860	84,116	94,157	94,123	98,590	94,818	93,357	103,771
販売費・一般管理費	297,741	324,740	73,311	70,725	77,499	76,203	84,421	79,714	83,513	77,090
営業損益	54,516	65,797	6,548	13,390	16,657	17,919	14,168	15,104	9,843	26,680
営業外収益	35,422	37,614	7,046	9,881	3,956	14,538	11,031	4,843	8,187	13,552
営業外費用	5,397	1,218	1,122	1,159	2,094	1,020	1,061	896	△972	233
経常損益	84,541	102,193	12,472	22,112	18,519	31,436	24,138	19,050	19,003	39,999
特別利益	1,191	56	0	123	954	114	―	―	56	―
特別損失	2,748	2,405	520	5	1,491	730	196	1,170	1,147	△109
法人税等	14,851	24,986	33	5,008	4,736	5,072	5,138	5,815	4,211	9,821
非支配株主に帰属する当期純損益	23,331	26,139	3,397	6,966	3,059	9,907	4,911	4,730	4,409	12,087
親会社株主に帰属する当期純損益	44,802	48,717	8,520	10,254	10,186	15,840	13,893	7,333	9,292	18,198

＊ MUFGセキュリティーズアメリカ（MUSA）は含めておりません

受入手数料及び販売費・一般管理費（財務ベース）

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

単位：百万円

	年度		四半期							
	2023/3期	2024/3期	2023年3月期				2024年3月期			
			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受入手数料	151,850	196,772	30,070	35,865	45,654	40,260	46,156	43,962	48,039	58,614
委託手数料	23,241	29,797	5,570	5,836	5,392	6,441	7,321	7,265	6,912	8,298
引受・売出手数料	26,896	38,238	5,974	7,308	5,717	7,896	9,789	8,642	11,776	8,029
募集・売出手数料	18,628	25,737	4,677	5,530	3,757	4,662	5,152	6,832	5,919	7,833
その他の受入手数料（受益証券）	23,681	27,065	5,898	6,097	5,820	5,864	6,255	6,691	6,743	7,375
その他受入手数料（その他）	59,403	75,934	7,948	11,093	24,966	15,394	17,637	14,530	16,688	27,077
販売費・一般管理費	297,741	324,740	73,311	70,725	77,499	76,203	84,421	79,714	83,513	77,090
取引関係費	66,781	71,958	13,723	15,484	19,526	18,046	21,053	17,222	17,709	15,973
人件費	119,849	131,013	31,363	28,354	29,833	30,297	31,289	32,744	34,067	32,911
不動産関係費	23,367	23,632	5,878	5,722	5,997	5,767	6,214	5,892	5,884	5,641
事務費	38,763	42,114	8,443	9,328	10,271	10,720	10,636	11,040	11,059	9,377
減価償却費	30,341	31,626	7,611	7,621	7,539	7,569	7,281	8,204	7,920	8,220
その他	18,637	24,394	6,290	4,213	4,330	3,803	7,945	4,609	6,872	4,966

＊ MUFGセキュリティーズアメリカ（MUSA）は含めておりません

連結貸借対照表の状況（財務ベース）

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

単位：十億円

	2023年3月末	2024年3月末	増減額
資産の部			
流動資産	31,800	37,458	＋5,658
現金・預金	2,866	2,471	△395
トレーディング商品	11,936	14,450	＋2,513
有価証券担保貸付金	13,954	17,416	＋3,462
その他	3,041	3,119	＋77
固定資産	659	659	＋0
有形固定資産	24	24	＋0
無形固定資産	109	127	＋17
投資その他の資産	525	507	△17
資産合計	32,459	38,117	＋5,658

	2023年3月末	2024年3月末	増減額
負債の部			
流動負債	29,509	35,245	＋5,736
トレーディング商品	12,412	13,985	＋1,572
有価証券担保借入金	8,552	12,257	＋3,704
短期借入金	4,451	4,604	＋153
その他	4,092	4,398	＋305
固定負債	1,904	1,760	△144
社債	841	496	△344
長期借入金	1,046	1,245	＋199
その他	17	18	＋0
負債合計	31,418	37,010	＋5,591
純資産の部			
株主資本	742	767	＋25
その他の包括利益累計額	8	48	＋40
非支配株主持分	289	290	＋0
純資産合計	1,040	1,107	＋66
負債・純資産合計	32,459	38,117	＋5,658

＊ MUFGセキュリティーズアメリカ（MUSA）は含めておりません

財務基盤関連指標　（格付・自己資本規制比率）

MUFG 三菱UFJ証券ホールディングス

外部格付

	R&I	JCR	Moody's	S&P	Fitch
三菱UFJ証券ホールディングス					
長期格付	AA	AA	A1	A-	-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-2	-
三菱UFJモルガン・スタンレー証券					
長期格付	AA	AA	A1	A	A-
短期格付	a-1+ *	-	P-1	A-1	F1
MUFG Securities EMEA plc					
長期格付	AA **	AA **	A1	A	-
短期格付	-	-	P-1	A-1	-
MUFG Securities (Canada), Ltd.					
長期格付	-	-	-	A	A-
短期格付	-	-	-	A-1	F1
MUFG Securities (Europe) N.V.					
長期格付	-	-	A1	A	-

*CP格付
**MTNプログラム格付（優先債）

自己資本関連指標

自己資本規制比率　MUMSS

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社の当期の自己資本規制比率につきましては、下記URLに掲載しております。

https://www.sc.mufg.jp/company/finance/cp_ratio.html

MUFG

三菱UFJ証券ホールディングス

本資料は、2024年3月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入または売却の勧誘または推奨を目的としたものではありません。本資料は、2024年4月26日現在のデータに基づき作成されており、本資料に含まれる財務情報等は、監査法人によるレビューの対象外です。本資料に掲載されている事実および見解は、本資料作成時点において当社が認識している事実および当該時点における当社の見解であり、これらの情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。その他、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。なお、本資料のいかなる部分についても、著作権その他一切の権利は当社に帰属しており、電子的方法を含め、いかなる方法または目的であれ、当社に無断で複製、配布、転送等を行うことが禁止されますので、この点をご了承の上、本資料をご覧下さい。